

# 高性能潤滑油 RP-LUCID

## こんな事象はありませんか？

- ベアリングの故障が多発.
- 摩耗（鉄粉）が発生
- ギヤーの損傷が進行.
- オイルを頻繁（1年以内）に交換.
- 水の混入が多い.
- スラッジ（ワニス）の発生を抑えたい.

## こんな検討はされていませんか？

- 点検周期を延ばしたい.
- 休転時の作業を減らしたい.
- メンテナンスフリーを目指したい.
- 省エネの取り組みを進めたい.

## RP-LUCIDのアドバンテージ

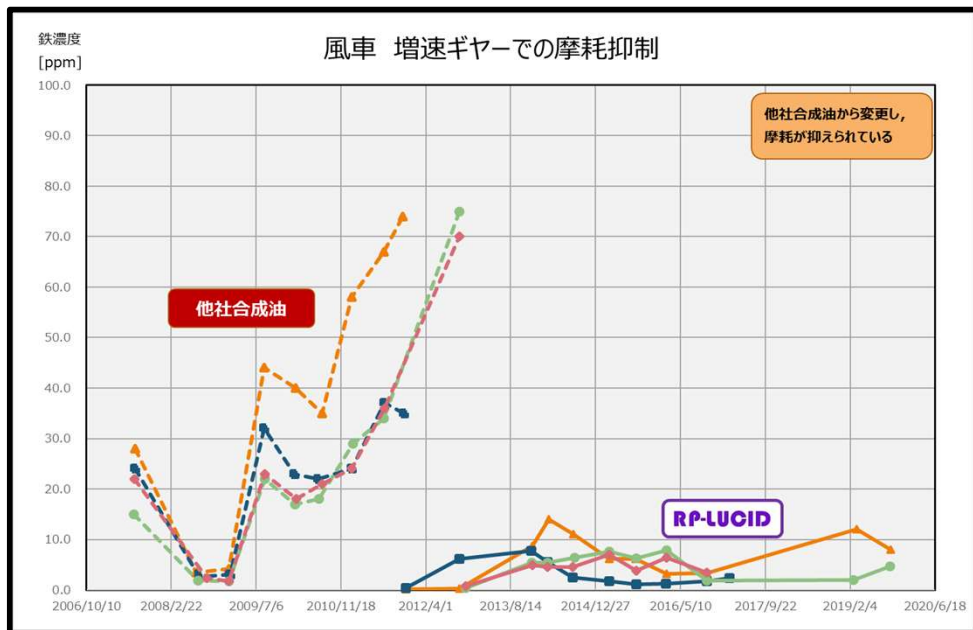
- 耐荷重能が極めて高い  
⇒油膜が強い, 摩耗を抑制
- 酸化安定性が高い  
⇒劣化しにくい
- 水分離性に優れる  
⇒乳化しない, 油膜切れ防止
- 境界潤滑下で摺動面を平滑化
- 摩擦係数が低い

## RP-LUCID使用のメリット

- 発生しているトラブルの軽減
- 検討されている課題の解決

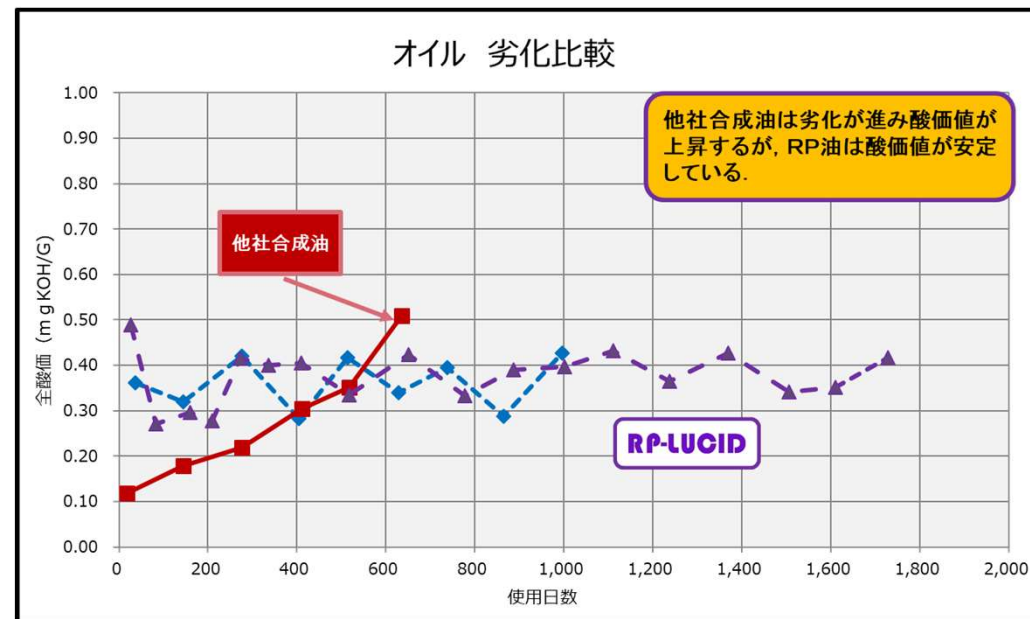
# RP-LUCID 導入事例 (摩耗低減、劣化抑制)

## 摩耗低減効果



## 風車増速ギヤーでの実績

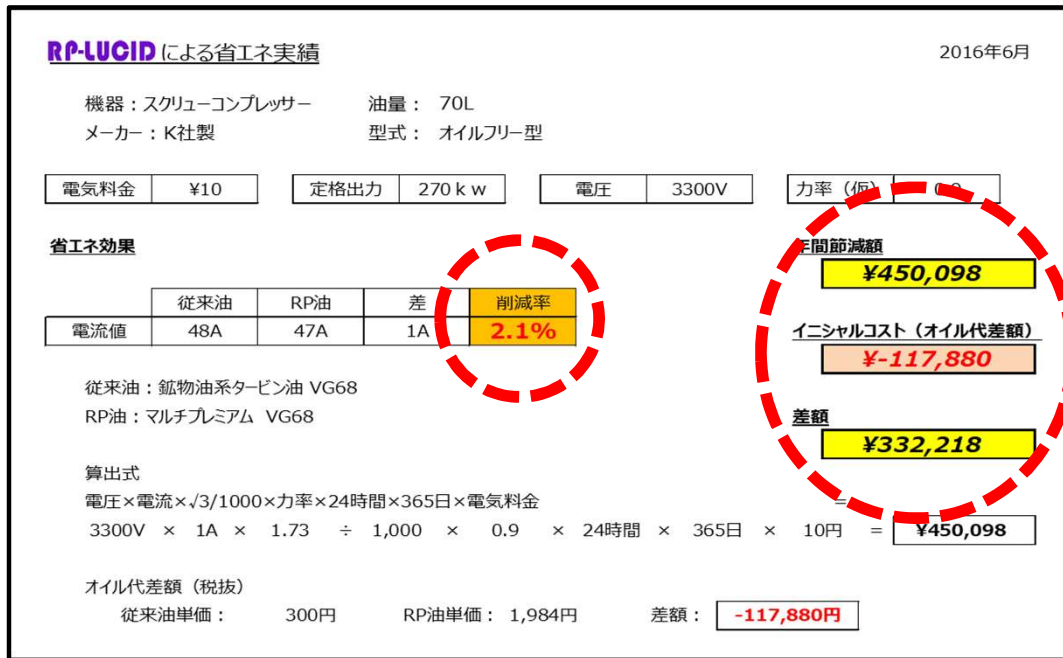
## 劣化抑制効果



## スクリーコンプレッサーでの実績

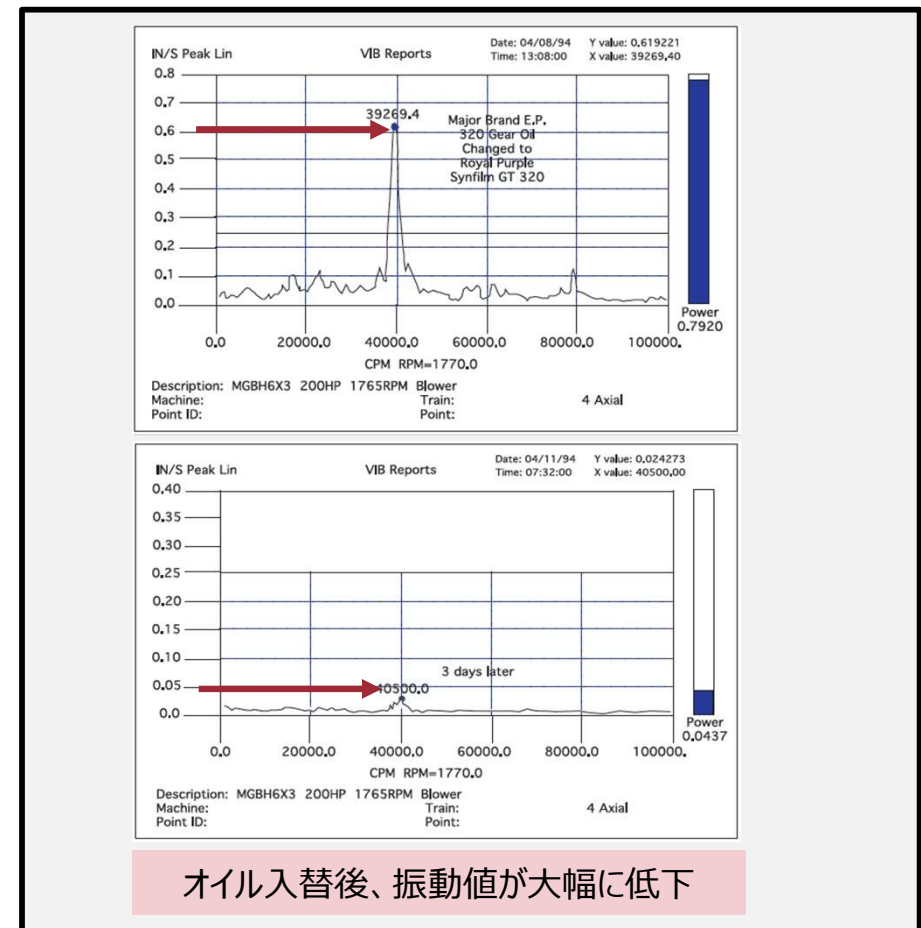
# RP-LUCID 導入事例 (省エネ効果、振動低下)

## 省エネ効果



## スクューコンプレッサーでの実績

## 振動低下効果

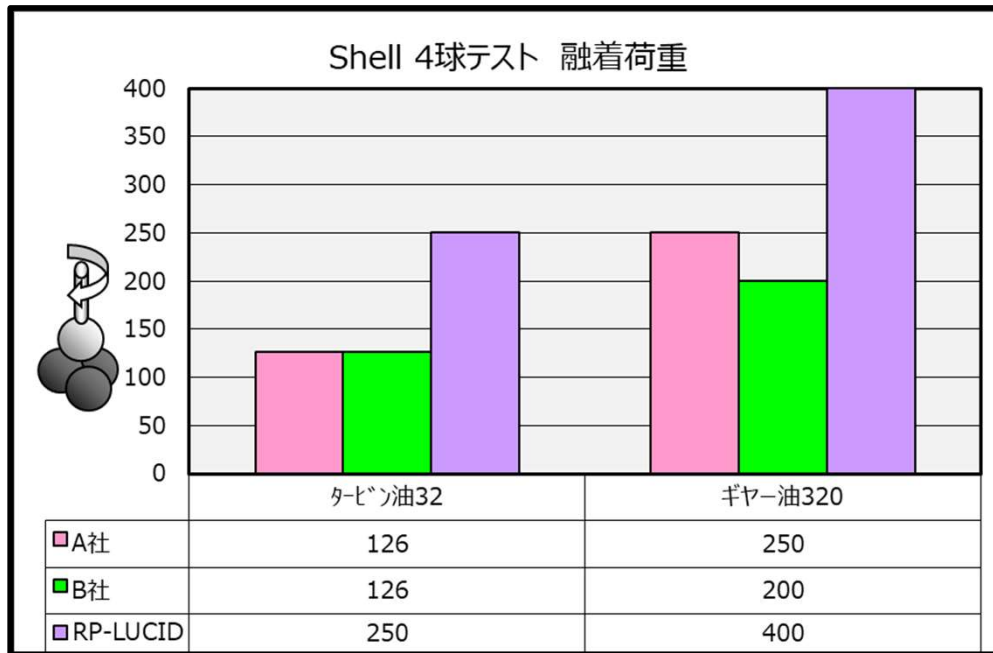


## ルーツブロワでの実績 (入替後3日)

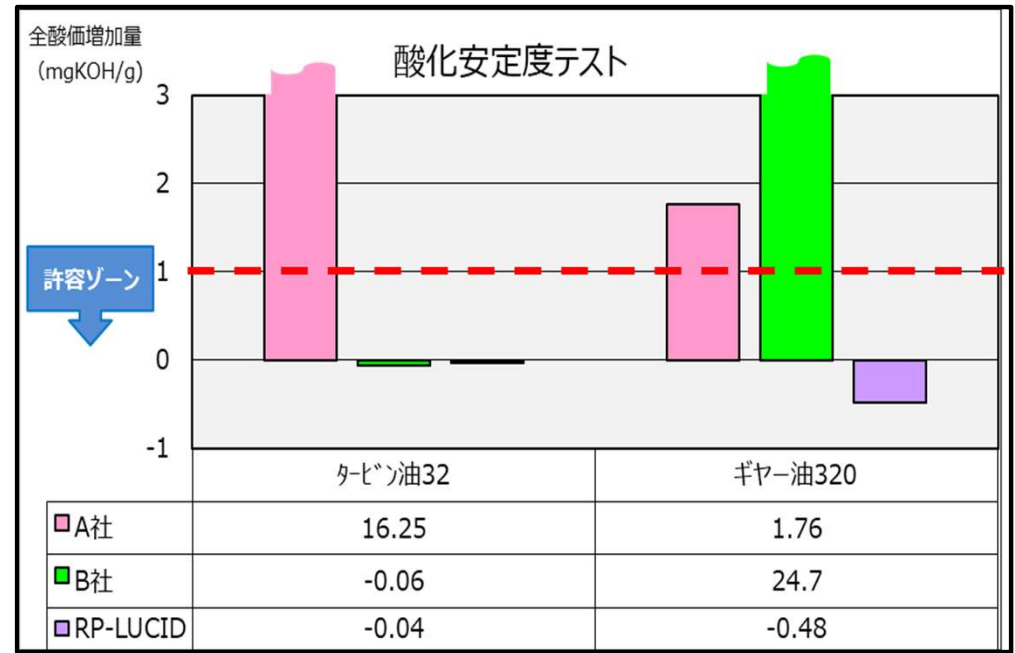
# RP-LUCID

## 競合品との比較 (油膜強度, 酸化安定性)

### 油膜強度



### 酸化安定度



- 一般的に耐荷重性が期待できないタービン油でも他社ギヤ油並みの耐荷重性がある。
- 耐荷重性が高いギヤ油でも他社油より格段に高い耐荷重性がある。
- 確実に油膜を形成し機器の長寿命化に繋がる。

- 劣化に強いタービン油の場合、酸価値の上昇はなく劣化しにくい。
- 一般的に劣化しやすいギヤ油でも酸価は上昇せず劣化していない。
- オイル交換周期の長期化、スラッジレス化に繋がる。